

現代農業 2006年2月号

ら吹き下ろす塩嶺おろしが冬將軍の到来を告げるのが十一月中ごろ。水ばなが出はじめ、粉雪がちらちら舞い出し、最低気温が氷点下七度くらいになると、さあ、わがビニールハウスでできた店（直売所）の薪ストーブの出番です。

わが店の薪ストーブは、縦四〇cm、横六〇cm、高さ六〇cm（うち脚が一五cmくらい）ほどの鋳物でできたストーブです。私は、このストーブを使うころになると、わが家を建て替える前の昔にあった囲炉裏を懐かしく思い出します。

囲炉裏端の上座には毎朝、祖父が座りました。祖父は、家族をひとわたり見渡すと、「安、ここに来い」と私を呼びます。私を膝に上げ、頭をひとなでしながら、家族に今日一日の計画を話し、「ききょう」だったか「みのり」だったか、今となっては思い出せませんが、きざみタバコを詰めたキセルを

経済問題へ移ってしまいました。近頃の物価が高いのを嘆き、次は自分の体の不調をくどき、とどのつまりは年金の少なさを嘆きながら、話はやむことがありません。冬の直売所、サロンに早変わりです。

話が途切れると、「やっぱり薪ストーブはいいなあ」と某爺。ついでに「安さん、ひと冬中の薪はあるか」と心配顔でたずねてきます。すると今度は「薪といえば、昔はお日様が出る前に起き出して、二里も歩いて山へ取りに行ったもんだ」と薪話題へ転換。その薪も、「ストーブのためというのではなく、生活すべてのエネルギーだったんだからなあ」と誰かが継ぐと、「今は何事も便利でよくなったがお金がかかる」「それにしても、今の若い衆はラクをして金を取ることはかり考えていけねえ」と、話はまた愚痴っぽくなつていきます。

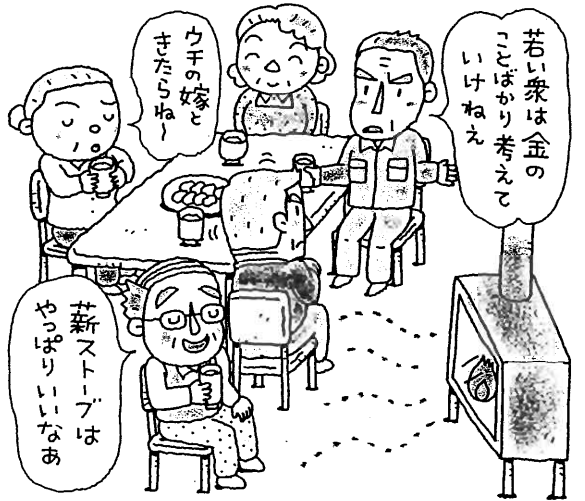
今度は若い人たちを次々、口々にこ

囲炉裏の端でポンポンとたたく。こうして一日が始まるのでした。

冬の直売所が 爺々婆々の サロンに早変わり

そんな昔を思い出しながら、ストーブにくべる薪を作り、店を開けます。しばらくすると三日に一度は顔を出す仲間がやってきて、いっしょに薪割りを手伝ってくれます。

燃料にするのは古材です。近所の建築屋さんが家を解体したときに出る古材をもらって利用するのです。古材を切ったり割ったりしながら、「これも省エネか」と頭の中で思いながら自画自賛しつつ、自分のあいだの燃料を作っておきます。ストーブに火を入れ、上に置いた鉄瓶がシュンシュンいつて湯が沸くころ



小池さんの薪ストーブは、買うと5万5000円くらいの鋳物製

きおろしては、持ち寄った駄菓子を口に放り込む。勢い余つてのどにつまらせ、あわてて茶をすすって「アッチツチ」とやる者も出てきます。自分もそんな爺々婆々の仲間のひとりながら、

農村・都市交流にも大活躍

薪割り不要の薪ボイラー

椿原まり子

これでは若い人たちに疎まれてもしかたがないなあど苦笑しつつ、赤々と燃える薪をかき回す毎日が、今年もまもなくやってきました。

（長野県諏訪市湖南四〇〇一）



長さ1m、直径30cmの丸太がそのまま入るので薪割りの手間が不要

廃材・ゴミが 燃料に変身

こんにちは。農林業体験交流施設「四季菜館」館長の椿原まり子です。都市と農村の共生・対流を目指し、環境保全型農林業を通じて消費者と交流を深めよう



四季菜館で大活躍の薪ボイラー（貯湯タンク容量350ℓ）。2階建て、延べ500㎡以上ある大きな建物の給湯をすべてまかなう。まもなく床暖房にも利用する

を車で走っていても、廃材が転がってないか、風倒木を処理している現場がないかと、気にする習慣ができました。薪集めの作業は、四季菜館へ訪れる農林業体験参加者に助けってもらえます。

交流体験施設の給湯コストはタダ同然

給湯コストが安い（タダ同然！）ので、田んぼに放したアイガモの処理やもちつきなどで大量のお湯を使うとき

と、十数年前から「山村塾」を開いてきました。その拠点として造った建物が四季菜館です。今秋、晴れて十周年を迎えました。

四季菜館は、町の消費者がシャワーで汗を流したり、食事をした後、お茶を飲みながら交流を深める場です。建物には地元産の木材を使い、給湯などのための燃料にも薪を使いたいと考えました。それで設置したのが薪ボイラーです。

初期コスト面でもそんなに割高感はないし、廃材はむしろんのこと、家庭ゴミの分別によって発生する可燃ゴミ（紙・段ボール等）も貴重な資源として蘇ります。環境センターに持ち込むゴミの減量にもつながりました。

でも、このボイラーの最大の長所というのはいくらも別なところにあるんです。それは薪割りが不要だという点です。



筆者。四季菜館の玄関前で

す。長さ1m前後（最大1・3mくらい）、直径30cmくらいの薪まではそのまま押し込めます。それ以上の径の場合も、短材にさえすれば、割る手間をかけずに燃料にできます。

また、アタッチメントとして灯油ボイラー・プロワーカーなどを付けられますが、種火を残した状態で薪を補給すれば、これらはほとんど必要ありません。本当のエコボイラーとなります。

四季菜館では、調理時にはガスを使いますが、ガス湯沸かし器はありません。

にたいへん助かります。したがって光熱費のなかのガス代は一般家庭の使用量と変わりません。今後、床暖房の設備が入れば、光熱費はいっそう減ると思います。

それから、もう一つうれしいことがあります。体験参加者どうし、ボイラーの焚き口で薪をくべながら会話が弾んだり、煙突からの煙に見とれたり、最近では田舎でさえ経験できなくなつた楽しさがあるのです。薪がパチパチと燃え盛る音を

耳に、炎に見入って我を忘れる。薪ボイラーは、こんな懐かしい田舎の雰囲気も蘇らせてくれます。

ん。二つある浴室とシャワー室、洗面所、流しのすべての給湯供給を薪ボイラーでまかっています。現在、床暖房も計画中です。近くで不要品になっている給湯配管が手に入りそうなので割安でできる予定です。新築時に設置すれば、工事の面でもスムーズにできるでしょう。

周囲を見渡せば、薪はあちこちにある

薪集めに関しては、森林伐採時の廃材（切れっ端）や風倒木、建築廃材の大きめの角材などを多方面から調達できます。最近では、土木工事現場でも土留めに丸太材を使うことが多いようです。こうした工事終了後の廃材処分時に調達したこともありました。幸いにも2m材が使われていたので、半切りにするだけで1mの薪になって好都合でした。

薪ボイラーを設置してからは、農道

（福岡県八女郡黒木町大字笠原六四一）

※椿原さんがお使いの薪ボイラーの製造販売元はエーテオー（名古屋市北区志賀町五―一七 TEL〇五―一九一―四三―一）貯湯タンク容量二〇〇ℓ、毎時熱源能力二万六〇〇〇〜三万八〇〇〇kWhのタイプ（N1200NSB）で三九万―六五〇円。ハウスの暖房にも使えるものと大型のタイプもある。

酵素 ビタナール 微生物

多種多様の植物から抽出した活性の栄養エキス！ 絶対無害安全

ご使用方法 水で、1,000～10,000倍にうすめて散布する

- 種や根、さし木の浸漬に。
- また土壌灌水、葉面散布、水田灌漑に！
- 野菜、果実、花卉、稲、茶、樹木、芝生等

すべてに使用して効果を発揮！

※詳しい説明書を差上げます。作物名を明記してお申込み下さい。

製造・販売 **メルビー社**

取扱店 募集 中

〒811-3122 福岡県古賀市薦野369-3
TEL 092-946-3237 FAX 092-946-3245